

志賀原子力発電所 1号機 高圧炉心スプレイディーゼル発電機 停止用電磁弁からの空気漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、2022 年 8 月 4 日（木）23 時頃、運転員が巡視点検中に高圧炉心スプレイ（以下、「HPCS」）ディーゼル発電機^{※1}の始動停止用圧縮空気を供給する配管に設置されている停止用電磁弁^{※2}から空気が漏えいしていることを確認しました。

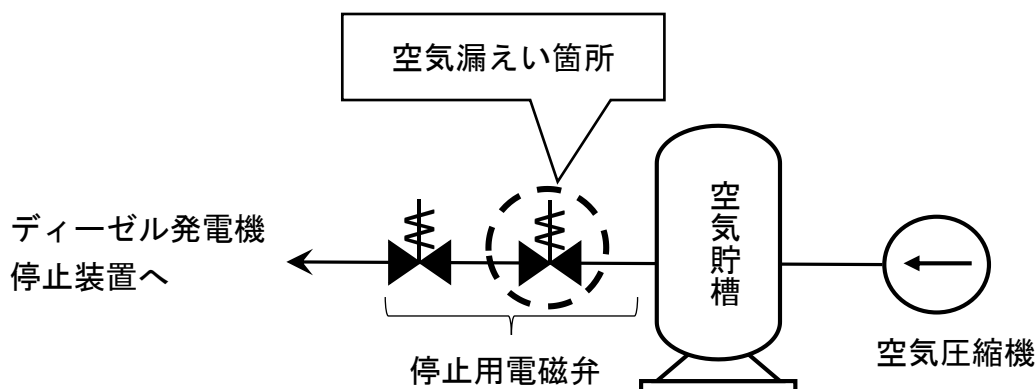
漏えい空気量は微量であり、空気貯槽内の始動停止用圧縮空気は、空気圧縮機により圧力が一定範囲に保たれているため、HPCS ディーゼル発電機の機能には影響ありませんでした。

弁内部の部品の劣化により空気漏えいに至ったものと推定しており、当該電磁弁については予備品に取替えています。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

※1 発電所の外部電源喪失時に HPCS 系（高圧状態の原子炉へ水をスプレイして燃料を冷却する設備）等への電源を供給するための非常用発電機。

※2 ディーゼル発電機の停止に必要な空気を供給する時に開放する弁。



HPCS ディーゼル発電機始動停止用圧縮空気供給系統 概略図